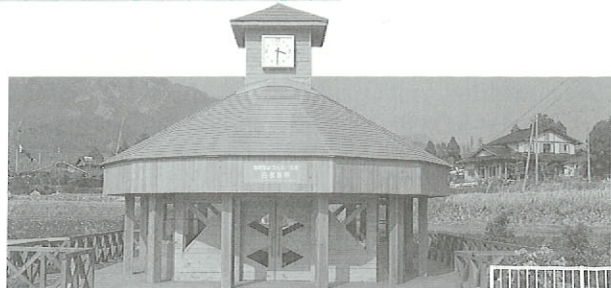


熊本城周遊バス発進

熊本城周辺の文化施設をめぐる、市営の熊本城周遊バスが4月18日、運行を始めました。2台で1日18便運行され、一般公募により「むさし」「とおりゃんせ」号の愛称がつけられました。

料金は大人120円、小人60円均一で、周辺文化施設の入場割引券付きの1日乗車券(300円)も発売されています。

熊本市



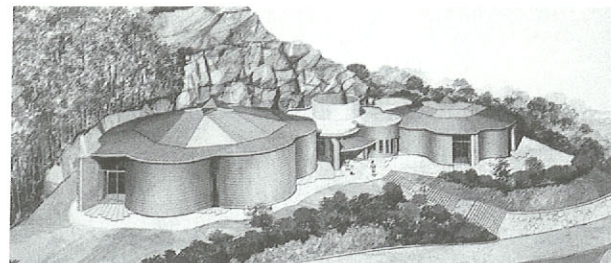
**日本一長い名前の駅
「南阿蘇水の生まれる里白水高原駅」開業!**

第3セクターの南阿蘇鉄道9番目の駅「南阿蘇水の生まれる里白水高原駅」が4月1日開業しました。

駅舎は阿蘇郡12か町村を象徴した12角形で、屋上に時計台がついたかわいらしいデザインになっています。

日本一長い駅名がついたこの新駅、記念撮影をと、さっそく連日多くの観光客でにぎわっています。

白水村

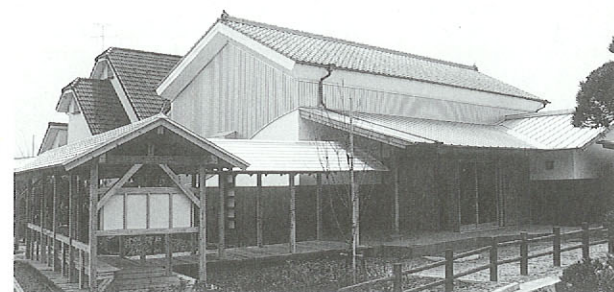


石工の里資料館 今秋着工へ

しょうがと種山石工の里づくりの核施設として計画されている、石工の里歴史資料館の概要がまとまりました。鉄筋コンクリート造り、平屋建3棟で、壁には石橋に使われている凝灰岩、屋根にはヒノキの丸太、建物全体は花びら形のユニークなデザインとなっています。

今秋着工予定で、平成6年春のオープンを目指しています。

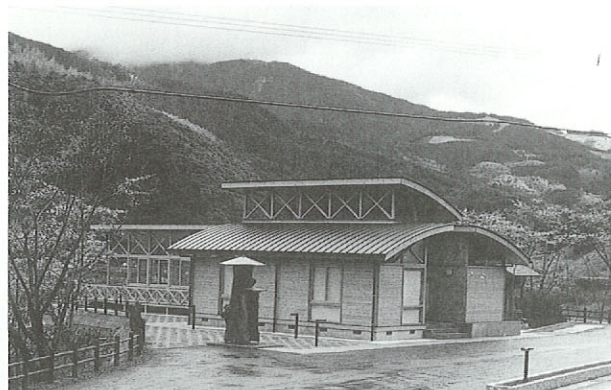
東陽村



清浦奎吾伯 記念館が落成

県出身唯一の総理大臣経験者、清浦奎吾伯の生家横に、ふるさと文化伝承館・清浦記念館が落成しました。木造土蔵造りの館内には、清浦伯の遺品約300点が展示されているほか、パネルと音声を組み合わせてその生涯を紹介するコーナーもあります。

鹿本町

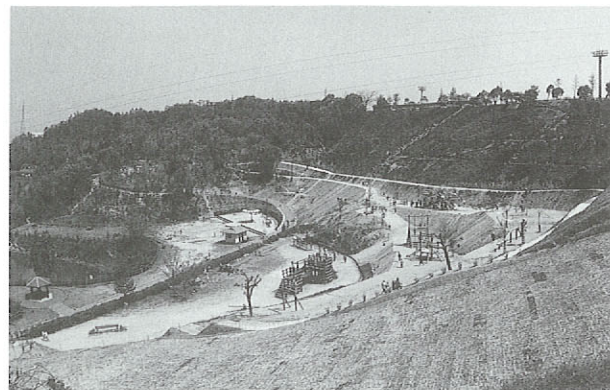


レストハウス「湖畔」完成

一万本楼で知られる市房ダム湖畔に、噴水展望休憩所「レストハウス湖畔」が完成しました。木の香りにつつまれた建物から、高さ80mの水柱を噴き上げる噴水や、市房山の自然を眺めながらの食事や休憩は格別です。

また、村の特産品コーナーも設けてあり、新たな観光拠点として期待されています。

水上村



**岡岳アドベンチャーパーク
オープン**

4月4日にオープニング記念祭があり、多くの家族連れでにぎわいました。園内には、18のフィールドアスレチックが楽しめる冒険広場や、全長80mのローラースライダーなどがあり、冒険心を満たしてくれることうけあいです。

松橋町



五老ヶ滝に新游歩道完成

通潤橋と並ぶ観光スポット、五老ヶ滝に新しい遊歩道が完成しました。昨年、五老ヶ滝につり橋が完成しましたが、この遊歩道の開通で下流の仙者ヶ淵への周回路となりました。

また、付近にはツツジやモミジなども植樹され、四季折々の景観が楽しめます。

矢部町



**廃物利用の安全簡単
粉せっけん製造機お目見え**

小国町では、美しい自然を後世に残すため廃物のリサイクル運動を進めていますが、このほど廃食用油を材料にした粉せっけんの製造機を開発しました。製造機も、洗濯機のモーターや空き缶など廃物が利用されており、ごみの減少、河川の浄化などが図られ、新たなリサイクル運動の情報発信地になりそうです。

小国町



玉の湯 新装オープン

玉名温泉街にある、市営大衆浴場が新しくなりました。愛称は玉の湯。旧高瀬町に建ち並んでいた米蔵をイメージした建物で、うたせ湯とジェット湯を備え、2階が畳敷きの休憩室です。4月から9月までの営業時間は、午前5時30分から午後9時まで。入浴料金は大人200円です。

玉名市



**手作りアイスクリームの製造販売も。
くだもの村完成**

御立岬公園の一角に、くだもの村が完成しました。パイア、マンゴーなどの試験栽培用ガラス温室、清見、デコポンなどの見本園、スリル満点のジャンボすべり台もあります。

また、特産の甘夏ミカンを利用した手作りアイスクリームの販売も予定され、注目をあつめそうです。

田浦町